

永田岳淵 （号あり） 評論家、小説家。明治四年四月八日周防國岩國生れ、  
 昭和四十二年歿（八七—一九七二）。本名新之允。別號一老書生、五龍橋  
 生、南夏木、夢見る里人、如補學人、岳淵生、橋亭主人、橋亭生、歸  
 燕庵主人、猿面冠者、青海長雲樓、鐘城生等。南方一校の水西塾の學  
 び、印刷工、郵便局等勤務のち入隊して日清戦争に従軍。明治二十  
 九年記者生活に入り、『讀賣新聞』、『國民新聞』を経て、二十七年  
 實業之日本社入社。昭和に入り歸郷して岩國市長に納まる。

著書『小野粹』（本名、明治二十年十一月十一日富山房）、『二年の  
 夢』（内題「共黨實話」）二年の夢「橋亭主人名、明治二十一年七月二十八日  
 厚生堂）、『名將烈士の影』（橋亭生

名、明治二十一年八月十一日厚生堂）、  
 『一百年  
 後の夢 共平會議』（橋亭主人名、明

治二十一年九月八日厚生堂）、『南海  
 奇運談』（岳淵生名、合著・松原岩五

郎編、明治二十一年十一月二十六日青年と志社）、『實業家人物評論』  
 （同、合著・實業之日本社編、明治二十四年二月八日實業之日本社）、



『岳性の光輝』（同、明治二十六年  
 十一月十六日實業之日本社）、『青年  
 と志編』（明治四十二年十月七日富  
 田文陽堂「修養叢書」）、『知られ  
 る秋田』（合著、明治四十二年十  
 一月一日龍澤武編刊）、『苦學力行

の人』（明治四十二年五月十五日富田文陽堂「修養叢書」）、  
 『今様の夢』

滿傳  
未來誌

二十年後の岩國市

(夢見の里人名)

昭和十六年九月二十日

口・新書書齋

川橋

錦城長恨歌

(昭和二十一年十一月一日)

大阪・永田良孝刊

可叙伝

(昭和二十七年十一月二十五日)

山口・兵庫会

錦城長恨歌

著者

如補學人 永田岳淵作歌

題深  
川橋  
錦城長恨歌

青海長雲樓所藏

